



## ユーザ デバイス プロファイルの更新

この章では、類似したユーザ デバイス プロファイルのグループのデバイス プールまたはコーディング検索スペースの変更や追加など、ユーザ デバイス プロファイル (UDP) 設定を更新する方法について説明します。クエリ検索またはカスタム ファイルのいずれかを使用して、更新する既存の UDP レコードを検索できます。

- [クエリを使用した UDP の更新, 1 ページ](#)
- [カスタム ファイルを使用した UDP の更新, 2 ページ](#)
- [更新パラメータの選択, 4 ページ](#)

### クエリを使用した UDP の更新

更新する UDP を特定するためのクエリを作成できます。

#### 手順

**ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration) ]>[ユーザデバイス プロファイル (User Device Profiles) ]>[UDP の更新 (Update UDP) ]>[クエリ (Query) ]の順に選択します。

[更新するユーザ デバイス プロファイルの検索/一覧表示 (Find and List User Device Profiles To Update) ] ウィンドウが表示されます。

(注) クエリを指定せずに [検索 (Find) ] をクリックすると、すべてのユーザ デバイス プロファイルを更新できます。 [更新パラメータの選択, \(4 ページ\)](#) に進みます。

**ステップ 2** 最初の [ユーザデバイスプロファイルの検索 (Find User Device Profiles where) ] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- プロファイル名 (Profile Name)
- プロファイルの説明 (Profile Description)
- [プロファイルタイプ (Profile Type) ]
- [プロファイルプロトコル (Profile Protocol) ]

- ステップ 3** 2 番目の [ユーザーデバイスプロファイルの検索 (Find User Device Profiles where) ] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。
- が次の文字列で始まる (begins with)
  - が次の文字列を含む (contains)
  - が次の文字列と等しい (is exactly)
  - が次の文字列で終わる (ends with)
  - が空である (is empty)
  - が空ではない (is not empty)
- ステップ 4** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。  
ヒント データベースに登録されているすべてのユーザーデバイスプロファイルを検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find) ] をクリックします。
- ステップ 5** さらにクエリを定義して複数のフィルタを追加するには、[絞り込み (Search Within Results) ] チェックボックスをオンにして、ドロップダウン ボックスから [AND] または [OR] を選択し、[ステップ 2, \(1 ページ\)](#) と [ステップ 3, \(2 ページ\)](#) を繰り返します。
- ステップ 6** [検索 (Find) ] をクリックします。  
条件と一致するすべてのレコードの詳細が、[更新するユーザーデバイスプロファイルの検索/一覧表示 (Find and List User Device Profiles To Update) ] ウィンドウに表示されます。1 ページあたりの項目の表示件数を変更するには、[ページあたりの行数 (Rows per Page) ] ドロップダウン リスト ボックスで別の値を選択します。

---

### 次の作業

UDP の更新手順を完了するには、次の手順で更新パラメータを選択します。

### 関連トピック

[更新パラメータの選択, \(4 ページ\)](#)

## カスタム ファイルを使用した UDP の更新

カスタム ファイル内の UDP のリストを使用して UDP を更新できます。カスタム ファイルを使用して、更新する Cisco Unified Communications Manager データベース内の UDP を検索します。

### はじめる前に

Cisco Unified Communications Manager から UDP を更新するには、その前に次のタスクを実行する必要があります。

- 更新する必要がある UDP を特定します。
- 以下の各オプションがそれぞれ別の行に配置されたテキスト ファイルを作成します。

- プロファイル名 (Profile Name)
  - 説明
  - プロファイルタイプ
  - プロファイル プロトコル
- テキスト ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバにアップロードします。

## 手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration) ]>[ユーザデバイスプロファイル (User Device Profiles) ]>[UDP の更新 (Update UDP) ]>[カスタムファイル (Custom File) ]の順に選択します。  
[UDPの検索/一覧表示 (Find and List UDP) ]ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [UDPの更新 (Update Bulk UDP where) ]ドロップダウンリストボックスで、次の条件から作成したカスタム ファイルのタイプを選択します。
- プロファイル名 (Profile Name)
  - 説明
  - デバイスタイプ (Device Type)
  - デバイス プロトコル (Device Protocol)
- ステップ 3** カスタム ファイルのリストから、この更新操作用のカスタム ファイルのファイル名を選択します。
- ステップ 4** [検索 (Find) ]をクリックします。
- (注) bat.xlt を使って作成した挿入トランザクション ファイルまたはエクスポート トランザクション ファイルを、更新トランザクションに使用しないでください。代わりに、更新する必要がある UDP レコードの詳細を含むカスタム ファイルを作成する必要があります。更新トランザクションには、このファイルだけを使用してください。このカスタム更新ファイルには見出しが不要で、プロファイル名、説明、プロファイルタイプ、またはプロファイルプロトコルの値を入力できます。

## 次の作業

UDP の更新手順を完了するには、次の手順で更新パラメータを選択します。

## 関連トピック

- [更新パラメータの選択, \(4 ページ\)](#)
- [サーバへのファイルのアップロード](#)

# 更新パラメータの選択

UDPを検索するためにクエリまたはカスタムファイルを定義したら、次の手順を使用して、パラメータを選択し、UDPを更新するための値を定義します。

## 手順

- 
- ステップ 1** 次のいずれかを実行します。
- 更新する UDP を検索するために [クエリ (Query) ] オプションを使用した場合、[更新するユーザ デバイス プロファイルの検索/一覧表示 (Find and List User Device Profiles To Update) ] ウィンドウで [次へ (Next) ] をクリックします。
  - 更新する UDP を検索するために [カスタム ファイル (Custom File) ] オプションを使用した場合、[UDP の検索/一覧表示 (Find and List UDP) ] ウィンドウで [次へ (Next) ] をクリックします。
- [UDP の更新 (Update UDP) ] ウィンドウに、選択しているクエリのタイプが表示されます。クエリのタイプを変更する場合は、[戻る (Back) ] をクリックします。
- ステップ 2** クエリまたはカスタム ファイルで定義したすべてのレコードで更新する設定を指定します。更新する複数のパラメータを選択できます。
- ステップ 3** 必要な UDP パラメータを更新します。フィールドの説明については、[表 1 : BAT で UDP を更新する場合のフィールドの説明, \(5 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 4** 更新するフィールドの左側にあるチェックボックスをオンにします。この操作によって、フィールドの既存の値を上書きするよう BAT に指令が出されます。
- (注) 更新チェック ボックスをオンにしたフィールドのみが、BAT によって更新されます。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information) ] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** アクティブ化の方法を選択します。次のいずれかを実行します。
- すぐにユーザ デバイス プロファイルをアクティブにする場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately) ] をクリックします。
  - 後でユーザ デバイス プロファイルをアクティブにするようにスケジュールする場合は、[あとで実行 (Run Later) ] をクリックします。
- ステップ 7** レコードを更新するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit) ] をクリックします。
- (注) 検索結果に複数のタイプやプロトコルのデバイスが含まれている場合、[UDP の更新 (Update UDPs) ] ウィンドウに特定のフィールドが表示されない場合があります。表示するすべてのフィールドに対して、同じタイプおよびプロトコルの UDP が使用されていることを確認します。
- 

## 関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[ジョブのスケジュール設定の管理](#)

## UDP 更新フィールドの説明

次の表で、UDP を更新するときに表示されるフィールドについて説明します。

BAT ユーザ インターフェイスでフィールド名にアスタリスクが付いている場合は必ず入力する必要があります。アスタリスクが付いていないフィールドについては、任意指定です。

表 1: BAT で UDP を更新する場合のフィールドの説明

フィールド	説明
説明	デバイスの識別に役立つ説明を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、山カッコ (<>) は使用できません。
ユーザ保留 MOH 音源 (User Hold MOH Audio Source)	この UDP またはポートのグループ用の音源を選択します。ユーザがコールを保留にしたときに、ユーザ保留音源の音楽が再生されます。
ユーザ ロケール (User Locale)	このユーザに関連付ける国/地域と言語の組み合わせを選択します。  この選択項目により、このユーザの文化に依存する属性と、Cisco Unified Communications Manager のユーザ ウィンドウおよび電話機でユーザに表示される言語が決まります。
電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)	このプロファイル用の適切な電話ボタンテンプレートを選択します。  電話ボタンテンプレートでは、電話機上のボタンを設定し、各ボタンにどの機能 (回線、スピードダイヤルなど) を使用するかを特定します。
ソフトキー テンプレート (Softkey Template)	このグループのすべての UDP で使用されるソフトキー テンプレートを選択します。
プライバシー (Privacy)	ドロップダウンリストボックスから、このプロファイル用の適切なプライバシー オプションを選択します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• [オフ (Off) ]: 各デバイスのプライバシーを有効にします。</li> <li>• [オン (On) ]: 各デバイスのプライバシーを無効にします。</li> <li>• [デフォルト (Default) ]: デフォルトのプライバシー設定をデバイスに適用します。</li> </ul>

フィールド	説明
[SUBSCRIBEコーリングサーチスペース (AAR Calling Search Space) ]	<p>プレゼンス機能で使用される SUBSCRIBE コーリングサーチスペースは、電話機から発信されたサブスクリプション要求を Cisco Unified Communications Manager がルーティングする方法を決定します。ドロップダウンリストボックスから、この目的に使用するコーリングサーチスペースを選択します。</p>
プレゼンスグループ (Presence Group)	<p>ドロップダウンリストボックスから、この UDP グループのプレゼンスグループを選択します。選択したグループは、この電話番号をモニタできるデバイス、エンドユーザ、アプリケーションユーザを指定します。</p>
ワンボタン割り込み (Single Button Barge)	<p>ドロップダウンリストボックスから、ワンボタン割り込み/C割り込み機能を有効または無効にするか、[デフォルト (Default) ]を選択してサービスパラメータの設定を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [オフ (Off) ]: この設定は、ワンボタン割り込み/C割り込み機能を無効にします。ただし、通常の割り込みまたはC割り込み機能は引き続き動作します。</li> <li>• [割り込 (Barge) ]: この設定は、ワンボタン割り込み機能を有効にします。</li> <li>• [C割り込 (cBarge) ]: この設定は、ワンボタンC割り込み機能を有効にします。</li> <li>• [デフォルト (Default) ]: この設定は、サービスパラメータで指定されたワンボタン割り込み/C割り込み (Single Button Barge/cBarge) 設定を使用します。</li> </ul>
回線をまたいで参加	<p>ドロップダウンリストボックスから、このデバイスの「複数ライン同時通話」機能を有効または無効にするか、[デフォルト (Default) ]を選択してサービスパラメータの設定を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [オフ (Off) ]: 複数ライン同時通話を無効にします。</li> <li>• [オン (On) ]: 複数ライン同時通話を有効にします。</li> <li>• [デフォルト (Default) ]: この設定は、サービスパラメータで構成されている「複数ライン同時通話」 (Join Across Lines) 設定を使用します。</li> </ul>

フィールド	説明
[常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line) ]	ド롭ダウンリストボックスから、[常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line) ] の設定として次のいずれかの値を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン</li> <li>• オフ (Off)</li> <li>• デフォルト</li> </ul>
[ボイスメッセージには常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line for Voice Message) ]	ド롭ダウンリストボックスから、[ボイスメッセージには常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line for Voice Message) ] の設定として次のいずれかの値を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン</li> <li>• オフ (Off)</li> <li>• デフォルト</li> </ul>
機能管理ポリシー (Feature Control Policy)	ド롭ダウンリストボックスから、この UDP グループの機能管理ポリシーを選択します。 機能管理ポリシーは、UDP に表示される機能とそれに関連するソフトキーの外観を指定します。
プレゼンテーションインジケータを無視 (内線コールのみ) (Ignore Presentation Indicators (internal calls only))	システムにプレゼンテーションインジケータを無視させる必要がある場合は、このチェックボックスをオンにします。
[サイレント (Do Not Disturb) ]	DND 機能を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
DND オプション (DND Option)	ド롭ダウンリストボックスから、DND のオプションとして次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• なし</li> <li>• 呼出音オフ (Ringer Off)</li> <li>• コール拒否 (Call Reject)</li> <li>• [共通の電話プロファイル設定を使用 (Use Common Phone Profile Setting) ]</li> </ul>

フィールド	説明
DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)	<p>ドロップダウンリストボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• なし</li> <li>• 無効 (Disable)</li> <li>• フラッシュのみ (Flash Only)</li> <li>• ビープ音のみ (Beep Only)</li> </ul>
Extension Mobility Cross Cluster CSS	<p>ドロップダウンリストボックスから、この UDP グループ用の適切な設定を選択します。</p> <p>クラスタ間エクステンションモビリティ CSS の設定は、ユーザが EMCC ログイン時にこのデバイス プロファイルを選択した場合に、リモート電話のデバイス CSS として使用されます。</p>
[マルチレベル優先順位およびプリエンプション (MLPP) 情報 (Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) Information) ]	
[MLPP ドメイン (MLPP Domain) ]	<p>このデバイスに関連付けられている MLPP ドメインの 16 進数値を入力します。この値は、空白または 0 ~ FFFFFFF の値にする必要があります。</p>
[MLPP 通知 (MLPP Indication) ]	<p>利用可能な場合、この設定は、優先トーンを再生できるデバイスで、MLPP 優先コールの発信時にこの機能を使用するかどうかを指定します。</p> <p>ドロップダウンリストボックスから、このデバイスに割り当てる設定として次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [デフォルト (Default) ]: このデバイスは MLPP 通知設定をデバイス プールから継承します。</li> <li>• [オフ (Off) ]: このデバイスは MLPP 優先コールの通知を送信しません。</li> <li>• [オン (On) ]: このデバイスは MLPP 優先コールの通知を送信します。</li> </ul> <p>(注) デバイスの [MLPP通知 (MLPP Indication) ]設定が [オフ (Off) ]、[MLPPプリエンプション (MLPP Preemption) ]設定が [強制 (Forceful) ]という設定値の組み合わせは使用しないでください。</p>



フィールド	説明
[MLPP プリエンプション (MLPP Preemption) ]	<p>利用可能な場合、この設定は、進行中のコールをプリエンプシオンできるデバイスで、MLPP 優先コールの発信時にこの機能を使用するかどうかを指定します。</p> <p>ドロップダウンリストボックスから、このデバイスに割り当てる設定として次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [デフォルト (Default) ]: このデバイスは MLPP プリエンプション設定をデバイス プールから継承します。</li> <li>• [無効 (Disable) ]: このデバイスは、MLPP 優先コールの発信時に進行中のコールをプリエンプシオン処理しません。</li> <li>• [強制 (Forceful) ]: このデバイスは、MLPP 優先コールの発信時に進行中のコールをプリエンプシオン処理します。</li> </ul> <p>(注) デバイスの [MLPP通知 (MLPP Indication) ]設定が [オフ (Off) ]、[MLPPプリエンプシオン (MLPP Preemption) ]設定が [強制 (Forceful) ]という設定値の組み合わせは使用しないでください。</p>
ログアウト (デフォルト) プロファイル情報 (Logged Out (Default) Profile Information)	
ログインユーザ ID (Login User Id)	ドロップダウン リスト ボックス から、UDP を更新する前に ログアウトするユーザ ID を選択します。
IP Phone サービスの割り当て	
このテンプレートからすべてのサービスを追加 (Add All Services From This Template)	<p>ドロップダウン リスト ボックス から、UDP の更新で使用するサービスのリストが含まれているテンプレートを選択します。</p> <p>[IP Phone サービスの編集 (Edit IP Phone Service) ]リンクをクリックして、このテンプレート内の登録済み Cisco Unified IP Phone サービスを更新できます。</p>
重複の削除 (Remove Duplicate)	<p>重複する IP Phone サービスを削除するには、このチェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにすると、重複するサービス登録が電話機およびユーザデバイスプロファイルから削除されます。IP システムは、IP サービス名に基づいてサービスを削除します。</p>
ジョブ情報(Job Information)	
ジョブ説明 (Job Description)	ジョブに関する適切な説明を入力します。

フィールド	説明
今すぐ実行 (Run Immediately)	ユーザ デバイス プロファイルの更新ジョブをスケジュールして、ただちにアクティブ化するには、このオプション ボタンをクリックします。
あとで実行 (Run Later)	ユーザ デバイス プロファイルの更新ジョブをスケジュールして、後でアクティブ化するには、このオプション ボタンをクリックします。